

令和4年度大分県民スポーツ大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

【 35 フェンシング 】

1. 競技会感染対策ガイドラインについて

- ・日本フェンシング協会の定めた「新型コロナウイルス対策ガイドライン」をもとに本大会ガイドラインを制定

2. 各競技運営上での感染対策について（以下の項目を参考して記載すること）

(1) 競技会場入場者受付での注意事項

- ①受付では、アクリルパーテーション、手袋、予備マスク、手指消毒シートを準備して対応する。
- ②受付の手前に、「自動検温設備」1基設置し、入場者の体温計測、記録する。
- ③入場者には、事前に配布された「体調管理チェックシート」の提出を義務付けるとともに、内容を細部にわたって確認した上で、入場を許可する。

(2) 洗面所・トイレ

- ①手洗い場にはハンドソープ（ポンプ式）を準備する。
- ②正しい手洗い方法の掲示物を貼付する。
- ③手洗い後のペーパータオルを準備する。
- ④トイレ出入口に手指消毒液（ポンプ式）を準備する。・更衣室等は設置しない

(3) 更衣室

- ①1～2mの対人距離を保つようなスペースを確保する。
- ②更衣室出入口に手指消毒液（ポンプ式）を準備する。
- ③更衣室内のドアノブ、ロッカーなど、複数人が接触するものに関しては、消毒液含浸クロスで、定期的（会場前・昼食時・大会終了後）に清拭する。
- ④トイレ出入口に手指消毒液（ポンプ式）を準備する。

(4) 競技会場

- ①入場から退場時までの全ての場面で、1～2mの対人距離をとって行動できるような動線管理、入退場人数管理をする。
- ②競技時以外は、マスクを着用すること。
（更衣室・待機場所：各ピストのベンチ・トイレ等）
- ③大きな声での会話や指導をしないこと。
- ④飲食については、指定場所以外で行わないこと、また共有しないこと。
- ⑤換気を徹底する。サーキュレーター等も使用する。
- ⑥イスやテーブルは、1プール（1団体戦）終了のたびに消毒液含浸クロスで清拭する。
- ⑦試合後には、ピスト等も消毒液含浸クロスで清拭する。・石鹸は各自で準備する（備え付けの石鹸は使用しない）

(5)ゴミの廃棄

- ①鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収（処理）する際は、マスク・手袋を着用する。
- ②ごみ処理後の手洗い（石鹸＋流水）を励行する。

(6)競技時の選手・コーチ・審判への注意事項

- ①選手は、競技用マスク（面）を装着する直前に一般マスクを外す。
※競技用マスク（面）の内側に個人専用の飛沫防止シート（フェンシング競技専用）を貼付する。
※飛沫防止シートは、必ず選手個人専用とし、共用を禁止する。
※各試合開始前に審判は飛沫防止シート着用状況を確認する。（非着用の場合は警告）
- ②審判は、必ず、マスクを着用する。
- ③選手から、審判への説明要求や抗議を行う際には1～2mの距離を確保する。
- ④コーチは、常時、マスクを着用し、大声での指導や近い距離での会話は避ける。
- ⑤競技終了後の相手選手・審判・コーチとの握手やハイタッチは禁止する。・待機場所は屋外に設定する。

(7)表彰式

- ①授与者、被表彰者ともに事前に手指消毒を励行する。
- ②握手やハグは行わない。・無観客で競技を実施する

(8)競技終了後の対応

- ①参観者全員が、一斉に退場口に密集することを避けるため、郡市別に時差を設けて退場（退館）させる。
- ②退館後は、ミーティング等を行わず、直ちに帰宅するよう誘導する。・競技前のウォーミングアップでは密にならないように留意する。